

下水道事業特別会計

平成 25 年度 下水道事業特別会計

【概 要】

経理状況は、歳入 4,434,747,938 円、歳出 4,411,173,107 円、収支差引額は 23,574,831 円でした。

(1) 歳入内訳

受益者負担金は、264,109,739 円、使用料等の事業収入は 1,496,198,069 円、国庫補助金は 201,712,500 円、下水道事業債は、373,300,000 円、諸収入 109,504,442 円（うち流域下水道維持管理費精算返還金 95,593,257 円）他会計及び建設基金からの繰入金は 1,957,372,000 円、財産収入は 2,032,355 円でした。

(2) 歳出内訳

下水道費 1,767,389,706 円のうち総務管理費は 405,086,549 円、下水道事業費 661,480,071 円、下水道維持管理費 700,823,086 円、下水道債償還となる公債費は 2,643,783,401 円でした。

2 下水道整備概要

(1) 下水道事業の整備面積は 3,069 ヘクタールで、うち犀川安曇野流域下水道関連安曇野処理区が 2,939 ヘクタール、公共下水道明科処理区は 130 ヘクタールとなっており、平成 25 年度の整備面積は穂高地域 10.1 ヘクタールで下水道整備率は 83.1 パーセントになっています。

(2) 下水道への接続件数及び水洗化人口は安曇野処理区 72,587 人、明科処理区 3,866 人で水洗化率は 88.9 パーセントになっています。

3 下水道整備・普及状況

処理区名	全体計画面積	認可面積	供用面積	整備面積	整備率	管渠延長
豊科処理分区	974.9ha	974.9ha	940.9ha	940.9ha	96.5%	198.9km
穂高処理分区	1,578.0ha	1554.7ha	1,043.8ha	1,043.8ha	66.1%	277.3km
三郷処理分区	559.8ha	549.8ha	541.8ha	541.8ha	98.5%	142.8km
堀金処理分区	459.9ha	409.9ha	402.0ha	402.0ha	87.4%	96.3km
安曇野処理区計	3562.6ha	3489.3ha	2,928.5ha	2,928.5ha	82.2%	715.3km
明科処理区	130.0ha	130.0ha	130.0ha	130.0ha	100.0%	43.2km
合 計	3,692.6ha	3,619.3ha	3,058.5ha	3,058.5ha	82.8%	758.5km

処理区名	行政処理人口	処理人口	水洗化人口	普及率	水洗化率
豊科処理分区	27,731 人	27,663 人	24,812 人	99.8%	89.7%
穂高処理分区	34,029 人	25,801 人	22,215 人	75.8%	86.1%
三郷処理分区	18,809 人	18,196 人	16,977 人	96.7%	93.3%
堀金処理分区	9,458 人	9,133 人	8,583 人	96.6%	94.0%
安曇野処理区計	90,027 人	80,793 人	72,587 人	89.7%	89.8%
明科処理区	8932 人	5,189 人	3,866 人	58.1%	74.5%
合 計	98,959 人	85,982 人	76,453 人	86.9%	88.9%

4 使用料（現年）

地 域 名	使用件数	汚水量	収入済額	収納率
豊科地域	8,932 件	2,837,942 m ³	580,621,894 円	99.39%
穂高地域	7,423 件	1,994,034 m ³	398,057,032 円	99.04%
三郷地域	5,200 件	1,439,993 m ³	285,854,742 円	99.44%
堀金地域	2,600 件	745,658 m ³	149,103,182 円	99.52%
明科地域	1,326 件	352,055 m ³	70,468,728 円	99.83%
計	25,481 件	7,369,682 m ³	1,484,105,578 円	99.34%

平成 25 年度不納欠損状況

平成 26 年 3 月 31 日

不納欠損事由	件 数（人）	金 額
地方税法第 15 条の 7（執行停止）	107 件	1,840,460 円

内訳：所在不明者 48 人 503,695 円
 無財産者 1 人 13,020 円
 生活困窮 1 人 1,890 円
 滞納者が死亡し相続人がいない者 57 名 1,321,855 円
 （地方税法第 15 条の 7 第 5 項）

}（地方税法第 15 条の 7 第 1 項）

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	維持管理担当	係等	維持管理担当

決算書 ページ	342
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	一般管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100009	一般管理費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
408,906,000	405,086,549		3,819,451	99.07%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
394,086,549	公共下水道使用料	381,475,764	下水道建設基金利子	2,032,355
	公共下水道使用料滞納繰越分	7,298,130	下水道使用料督促手数料	580,300
	排水設備確認申請手数料	980,000		
	指定工事店指定手数料	1,720,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・ 公共下水道関連施設（処理場、マンホールポンプ場、雨水ポンプ場、管渠等）の維持管理を（公財）長野県下水道公社に委託した。（H24～H25 債務負担行為）
下水道処理施設等維持管理業務委託 委託料 72,082,232 円
- ・ 下水道施設の運転、故障等を遠隔監視するシステムの運用を委託した。
下水道施設等広域監視業務委託 委託料 3,369,815 円
- ・ 下水道管路施設をGISシステムで管理するため、H24 下水道本管整備箇所及び開発に伴う管路施設の台帳データ作成業務を委託した。
下水道台帳データ作成作業業務委託 委託料 6,762,000 円
- ・ 下水道事業会計を公営企業会計に移行するため、資産調査等の支援業務を委託した。（H26～H27 債務負担行為）
下水道事業企業会計移行業務委託 委託料 5,481,000 円
- ・ 下水道使用料徴収業務を水道会計で委託しているため、下水道使用料に関する経費の負担をした。
負担金 52,800,000 円

上記の評価と課題等

現行下水道事業の特別会計について、地方公営企業法の適用を平成 28 年 4 月と決定し、これに向けた支援業務を、上記記載のとおり委託契約を締結しました。今後、この支援業務の中で作成した基本計画書の方針に沿って適切に進めることが必要と考えております。

処理場をはじめとした下水道施設は施工から年数が経過したことから、修繕費等の維持管理経費の増大が見込まれるが、適正な運転管理により経費の節減を図る。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	維持管理担当	係等	維持管理担当

決算書 ページ	346
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	受益者負担金徴収費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100180	受益者負担金徴収費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
14,795,000	14,100,230	0	694,770	95.30%
特定財源の合計金額	細節名	金額	細節名	金額
14,100,230	左記の内訳	公共下水道受益者負担金		8,832,750
		受益者負担金督促手数料		286,280
		受益者負担金滞納延滞金		4,981,200

主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業受益者負担金の公平・公正、適格な賦課及び徴収。
受益者負担金・受益者分担金分担金

(1) 現年

地域名	賦課件数	収入済額	収納率
豊科地域	925 件	14,079,300	98.67%
穂高地域	5,618 件	141,691,500	93.87%
三郷地域	400 件	5,022,100	92.95%
堀金地域	120 件	1,872,500	92.28%
明科地域	50 件	1,066,400	100.0%
区域外	44 件	33,156,000	92.83%
計	7,157 件	196,887,800 円	93.95%

(2) 滞納繰越分については区域外を合わせて、67,221,939 円を徴収いたしました。

平成 25 年度不納欠損状況

平成 26 年 3 月 31 日

不納欠損事由	件数	金額
国税徴収法第 153 条及び 都市計画法第 75 条 7 項	39 名	8,656,500 円

生活困窮及び無財産また所在不明により、執行停止（地方税法第 15 条の 7 第 1 項）が行われており 3 年経過前に時効が到来したものの。 32 名 6,206,000 円

滞納者が死亡し相続放棄によるもの、また、法人が廃業し、事実上再開が見込めず、明らかに徴収の見込みがないもの。（地方税法第 15 条の 7 第 5 項） 7 名 2,450,500 円

上記の評価と課題等

滞納繰越分の未収金を大幅に縮減することができました。

残る未収金 166,311,209 円について、時効管理を徹底し、早期に滞納処分をすることで、さらなる滞納額の縮減に努めます。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	維持管理担当	係等	維持管理担当

決算書 ページ	348
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	合併浄化槽維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100290	合併浄化槽維持管理費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
1,633,000	1,554,590	0	78,410	95.20%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
1,227,781		合併浄化槽使用料	1,227,781	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科大口沢地区に設置した合併処理浄化槽の維持管理を図った。

区分	事業費	事業内容
管理委託料	470,610 円	合併浄化槽保守点検 27 基
負担金	348,000 円	合併浄化槽維持管理負担金
手数料	584,580 円	合併浄化槽法定検査料・汚泥汲取り手数料
消耗品等	151,400 円	消毒液・フロア修理・原水ポンプ修理
合計	1,554,590 円	

上記の評価と課題等

設置から経年によりフロア等の設備修繕の増加が予想されるが、適正な維持管理を継続する。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	維持管理担当	係等	維持管理担当

決算書 ページ	348
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	元金		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100300	下水道事業債償還元金		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
1,832,757,000	1,832,756,439	0	561	100.0%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
191,963,648	公共下水道事業受益者負担金	91,585,709	区域外流入負担金	33,156,000
	公共下水道事業受益者負担金滞納繰越分	61,146,939	区域外流入負担滞納繰越分	6,075,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業計画に基づき整備した施設の建設費に充当した下水道事業債の元金を償還した。

上記の評価と課題等

本管整備が終盤となり借入額は減少しているが、今後数年は償還のピーク時期を迎えることから、一層の健全財政運営を図る。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	維持管理担当	係等	維持管理担当

決算書 ページ	348
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100320	下水道事業債償還利子		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
809,928,000	809,925,592	0	2,408	100.0%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
507,480,486		下水道使用料	507,480,486	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業計画に基づき整備した施設の建設費に充当した下水道事業債の利子を償還した。

上記の評価と課題等

本管整備が終盤となり借入額は減少しているが、今後数年は償還のピーク時期を迎えることから、一層の健全財政運営を図る。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	維持管理担当	係等	維持管理担当

決算書 ページ	348
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100340	一時借入金利子		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
1,200,000	1,101,370	0	98,630	91.79%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
1,101,370		細節名	金額	金額
		下水道建設基金利子	1,101,370	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業の推進と円滑な運営を図るため、一時借入した資金の利子の支払いをした。

上記の評価と課題等

財政運営をする上で一時借入した利子の支払いであるが借入額の縮小に努める。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	維持管理担当	係等	維持管理担当

決算書 ページ	348
------------	-----

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	予備費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100350	予備費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /	
4,500,000	0		4,500,000	0.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

本年度予備費の支出は無かった。

上記の評価と課題等

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	下水道整備係	係等	下水道整備担当

決算書 ページ	342
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	国庫補助事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100060	国庫補助事業費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
218,625,000	218,130,341	0	494,659	99.77%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
218,130,341		下水道事業国庫補助金	100,000,000		
		下水道事業債	96,300,000		
		公共下水道事業受益者負担金	21,830,341		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高牧及び穂高北穂高の下水道管渠整備

工事請負費 173,481,000 円 管渠 L=2,535m マンホールポンプ場 2 箇所

委託料 5,467,350 円 管渠詳細設計 L=340m 管渠工事施工監理業務 1 工区

建設負担金 20,661,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金

事務費 18,520,991 円 人件費、公用車及び事務機器の維持管理

上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現している。
平成 30 年度整備完了を目途に事業執行を図っていく。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	下水道整備係	係等	下水道整備担当

決算書 ページ	344
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	特定環境保全事業		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100110	特定環境保全事業		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /	
216,083,000	215,403,390	0	679,610	99.69%	
特定財源の合計金額	細節名		金額	細節名	金額
215,403,390	左記の内訳	特定環境保全公共下水道事業補助金	98,400,000		
		下水道事業債	95,100,000		
		公共下水道事業受益者負担金	21,903,390		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高有明及び穂高牧の下水道管渠整備

工事請負費 181,639,500 円 管渠 L=2,318m マンホールポンプ場 4 箇所
 委託料 1,663,200 円 管渠工事施工監理業務 2 工区
 建設負担金 22,000,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金
 事務費 10,100,690 円 人件費、公用車及び事務機器の維持管理

上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現している。
 平成 30 年度整備完了を目途に事業執行を図っていく。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	下水道整備係	係等	下水道整備担当

決算書 ページ	344
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	市単独事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100120	市単独事業費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
179,439,000	179,351,110	0	87,890	99.95%
特定財源の合計金額	左記の内訳		金額	金額
179,351,110	下水道事業債	151,700,000		
	公共下水道事業受益者負担金	19,009,610		
	下水道管移設に伴う補償料	8,641,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

汚水量が基準に達していないため交付金事業対象にならない末端管渠等の整備

工事請負費 134,053,500 円 管渠 L=2,169m

委託料 3,913,350 円 管渠詳細設計 L=340m 管渠工事施工監理業務 3 工区

建設負担金 3,000,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金

補償金 38,384,260 円 下水道工事に伴う上水道管移転補償

上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現している。
宅地点在りについては合併処理浄化槽補助事業と連携し、効率的な汚水処理を検討する。

平成 26 年度		平成 25 年度	
部	上下水道部	部	上下水道部
課	下水道課	課	下水道課
係等	下水道整備係	係等	下水道整備担当

決算書 ページ	346
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	流域下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100170	流域下水道事業費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
27,870,000	27,870,000	0	0	100.0%
特定財源の合計金額	左記の内訳		執行率 /	
27,870,000	細節名	金額	細節名	金額
	下水道事業債	27,300,000		
	公共下水道事業受益者負担金	570,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県が事業主体となり実施している犀川安曇野流域下水道の汚水処理施設建設費の一部を建設負担金として支出した。

建設負担金 27,870,000 円 消化ガス発電施設工事、覆蓋工事

上記の評価と課題等

今後も流域下水道事業計画に基づき建設負担金を支出する。